

当協会に対し北海道小樽水産高等学校から感謝状贈呈

2025(令和7)年10月4日(土)に開催された、北海道小樽水産高等学校創立120周年記念祝賀会(グランドパーク小樽)において、当協会が同校の教育振興に長年貢献してきたことに対して、感謝状が贈呈されました。

同校は、1905(明治38)年4月に「北海道廳立水産学校」として、当協会事務所の建物を仮校舎に創立されました。札幌農学校に水産学科が設置されたのが、1907(明治40)年2月ですから、同校が北海道の水産教育のパイオニア的存在であったことが分かります。

その後も当協会は、1968(昭和43)年から、50年以上にわたり高等学校水産教育への支援を続けており、現在「担い手育成事業助成」として、1.水産クラブ活動への助成、2.実習船の海外交流事業への助成、3.水産教育における漁業就業意欲の向上支援、4.産業教育フェア出展に係る助成、5.北海道高等学校水産クラブ研究発表大会優秀校の全国大会への参加助成を行っています。水産の担い手不足が深刻化している中で、今後も関係者のご理解・ご支援を頂きながら、同校を含めた北海道の水産系高等学校の教育振興に貢献して参ります。



感謝状

公益財団法人 北水協会

理事長 松山 恵二様

貴会は本校の教育振興に多大な
貢献をされてきました

創立120周年を迎え深甚なる
敬意と感謝の意を表します

令和7年10月4日

北海道小樽水産高等学校

校長 亀山 喜明

